

# 大信寺からのお知らせ

平成16年11月14日

大信寺住職 岡田真幸  
護持会会長 鯨井定義  
護持会 役員一同

## 護持会役員会 会議報告

期日 平成17年11月14日(日)午後3時～  
議題

1. 墓地使用規則制定の件
2. 今年度会計中間報告

議事

### 墓地使用規則制定の件

大信寺境内墓地の使用規則を全会一致にて承認されました。お陰様にて毎年5家ほどの入檀があり、現在234家となりました。境内墓地には、まだ余裕があり、これからも入檀が予想されます。

そこで、新たに入檀される方や現在の檀家の方々にも今まで成文化されていなかった内容を使用規則として成文化したもので仏教徒として常識的なものです。今まで通り墓地の建立やお参りをしていたら十分でございます。

### 今年度会計中間報告

収入	繰越金	1,051,487
	貯金利息	9
	合計	1,051,496
支出	建物共済	83,326
	見舞金	5,000
	生花	10,000
	香典	10,000
	合計	107,326

残金 944,170

上記のとおりご報告させていただきます。

11月13日現在

大信寺護持会会計 小貫三千男

## 納入のお願い

邑楽町町内は各地区役員が集金にお伺いします。納入のほどお願い申し上げます。

町外の方は、12月14日までに  
大信寺にご持参いただく  
または、銀行振込をご利用下さい。

## 報告

### 篠塚家伝来の什宝の寄贈

篠塚家二十四代渡辺嘉造伊氏(大信寺檀徒、横浜市在住)から大信寺へ篠塚家伝来の什宝を寄贈いただきました。渡辺氏は篠塚伊賀守公の末裔にあたり、総合川崎臨港病院名誉院長、94歳の今でも精力的に篠塚家に関する調査研究を続けています。今までも大信寺境内の経蔵にて什宝をお預かりし管理いたしてきましたが、この度、寄贈いただくことになりました。

大分類で46点あり、渡辺氏の著書、篠塚家史料、後醍醐天皇や後村上天皇宸翰(しんかん、天皇の親筆の文書)、刀剣などが含まれています。

渡辺氏に感謝申し上げますとともに、大切に保管管理したいと存じます。

また、4月に邑楽町図書館展示コーナーにて公開する計画です。



後村上天皇宸翰



楠正儀書状



太平記  
元禄11年刊

## 行事の報告

### 京都 知恩院 団体参拝の報告

3月11日(金)～13日(日)2泊3日の日程で30名にて京都 知恩院と大阪の旅行を実施いたしました。

11日午前6時、バスにて京都へ出発、午後2時半知恩院に到着、参拝後、法話を受けました。

宗祖法然上人の念仏のところに触れたひとときでした。更には、御影堂(本堂)や鐘楼の梵鐘の巨大さに驚きのため息。夕食は舞妓さんのお酌で京料理を堪能。その後、ライトアップされた清水までの道を散策。

12日は、平安神宮庭園を散策後、一路、大阪へ。吉本新喜劇で大笑い。道頓堀へ繰り出し、ふぐ料理を堪能しました。

仕事、子育て、家族介護などのため人生において自由に旅を楽しむ期間は短いものでございます。数年後にまた企画いたしますので次の世代の方々、ご期待下さい。



御影堂前にて 3月12日朝のお勤め後



知恩院門前の「いもぼう」にて舞を鑑賞しながら京料理 知恩院七不思議の一つ忘れ傘に見入る

## 行事のご案内

### 除夜の鐘

「除夜(じょや)」とは「旧年を除く夜」という意味で、12月31日の大晦日の夜をいいます。

大晦日(おおみそか)の夜、鐘は108突きます。

除夜の鐘をつき、その音を聞くことによって、この1年のうちに作った罪を懺悔(さんげ)し、罪を作る心を懺悔し、煩惱(ぼんのう)を除き、清らかな心になって新しい年を迎えましょう。



大信寺の鐘を皆さんで突き、煩惱を除き、清浄な心身で、新年を迎えましょう。

昨年は大雪にもかかわらず、40名ほどの信者が鐘を突き煩惱を振り払いました。

### 上州邑楽七福神めぐり

大信寺には、七福神のうち布袋尊をお祀りしており、布袋の寺としても知られています。

邑楽七福神めぐりで新春をスタートしてみませんか。

期日 1月 7日(土)

1月14日(土)

4月 8日(土)

の3回開催されます。

問合せは、鈴木隆行氏へ

(電話:0276-88-4709)

詳細は、別紙、または、広報おうら12月号をご覧ください。

